



ファイターズ応援歌の「アカシア」って何？

2006.11 No. 29

日本ハムファイターズが日本一になりましたね！まちの中で流れている公式応援歌はもう口ずさめるくらいだと思います。私もはじめはなんとなく聞いていたのですが、2番の歌い出しに「アカシアの樹々も薫る」というフレーズが出てくるのが耳にとまりました。

アカシアはミュージズレターNo.11（2002年5月号）に「“アカシア”の正体はにせもの?!」として登場しています。多くの人が「アカシア」と呼んでいる白い花の咲く木の正式な名前はハリエンジュ（ニセアカシア）で、アメリカ原産の外来種だという内容でした。

実は、ファイターズ応援歌と同じように童謡「この道」（北原白秋作詞、山田耕作作曲）にも時計台とハリエンジュ（歌詞の中では“アカシア”）が2つそろって登場します。このように札幌を代表する初夏の花になっているハリエンジュは、街路樹として植えられているものだけではなく、豊平川の川原や藻岩山、円山、三角山のふもとなどあちこちで増えています。

ハリエンジュはタネで増えるだけでなく、地中の根（根茎）をのぼして次々と株を増やしていきます。さらに、根粒菌が根に寄生し、この菌類が空気中のちっ素を利用して生活しています。ちっ素は植物が生きていくために必要な栄養素です。根粒菌が寄生している植物は、結果的にちっ素を効率よく取り入れることができます。マメ科植物には根粒菌が寄生するものが多く、昔はゲンゲ（レンゲソウ）は水田の緑肥（植物をたい肥にしないで、緑のまま肥料として土にすきこむ）として使われていたこともあります。ハリエンジュが生えると土の栄養分が増えるから良いことではないかと思われるでしょうが、もともとハリエンジュがなかった自然の中では土の栄養バランスが崩れてしまいます。

2002年のミュージズレターから4年の間に、全国的にも外来種についての調査研究や対策が進み、外来種がテレビや新聞で取り上げられることも多くなりました。学校の授業で博物館活動センターに来館されるみなさんも、質問の中で「外来種」という言葉を普通に使っています。

応援歌のとおり、札幌はハリエンジュの香る街になっています。花から採れるハチミツは香りもよくておいしく、また、咲き始めの花を天ぷらにすると色と香りを楽しめます。しかし、私たちに楽しみをくれる生き物も、その生態をよく知らないままあつかうと人間が予想しなかったような結果につながります。生き物を「外来種」にしてしまうのは人間なのだ、ということを忘れてはいけません。

※「北海道の外来種リスト」（2004年、北海道）で、ハリエンジュ（ニセアカシア）は要注意外来生物リストに入っています。（山崎）



ハリエンジュ 俗称ニセアカシア（マメ科）
Robinia pseudoacacia L.
アメリカ原産

連載 豊平川に眠る人魚 ⑩

古沢学芸員、いざ、アメリカへ！

アメリカで発見されたカイギュウ化石とサッポロカイギュウを比べて研究するため、「じゃあ、アメリカに行かなくちゃ！」と考えていた時、運よく私にアメリカ行きのキップが渡されました。「えーっ!? そんな都合のいい話があるの?」と疑う方もいるかと思えます。私も信じられませんでした。しかし、本当だったのです。

サッポロカイギュウ化石発見の翌年に文部科学省が募集した「平成17年度学芸員等在外派遣研修」に私が選ばれたのです。これまで何回か応募していましたが、一向によい返事がなく、「もし、今回だめだったら来年は応募をやめよう」と思っていた矢先のことでした。応募した書類では出発予定日は10月19日、内定の連絡があったのが9月6日。出発まで1ヶ月とちょっと……この間に研修先のサンディエゴ自然史博物館（アメリカ・カリフォルニア州）から正式に受け入れ許可をもらうには時間がありませんでした。すぐに連絡を入れましたが、7～9月のアメリカの博物館はフィールド調査シーズンで、メールもなかなかつながりません。さらに、アメリカでは11月25日のサンクスギビングからクリスマスまではバカンスシーズンに入ります。この期間は博物館の研究者もお休みを取ることが多く、満足な研修になりません。そこで、出発をぎりぎり5日延ばし10月24日



サンディエゴの位置（作図：相馬絵美）

から11月23日の1ヶ月間の研修にしました。

やっと先方から承諾をもらい、とりあえず出発の準備は整いました。研修のテーマは「地域の資料を生かした博物館活動の展開について」です。もちろん、地域の資料とはサッポロカイギュウのことです。そして、ちょうどよいタイミングで、サンディエゴ自然史博物館でも最近サンディエゴで産出したカイギュウ化石を復元した新しい展示製作に取りかかっていたのです。

（古沢）

2006年度自然探求サポート事業

フィールド調査へGO!

夏休み～10月に主に市内で野外調査をしました。11月からは活動センター実習室で採集したゲンゴロウの仲間の名前を調べたり、化石の中にカルシウムが残っているのかどうか実験したりしていきます。研究成果は1月末から展示予定です。



古沢学芸員と一緒にタカハシホタテを発掘しました。



モエレ沼公園は、沼のなかにもいろんな生き物でにぎやか!



採集はお父さん、お母さんもいっしょにやりました。